

学生2大駅伝への出場が確定

全日本は5年連続5回目

大学・駅伝競走部



6月15日に行われた報告会。※鈴木選手、竹内選手は欠席

第53回 全日本大学駅伝東海地区選考会 総合結果

順位	大学名	合計タイム
1	皇 學 館 大 学	4 時間10分33秒71
2	岐 阜 協 立 大 学	4 時間13分13秒12
3	中 京 大 学	4 時間15分51秒20
4	名 古 屋 大 学	4 時間19分18秒91
5	愛 知 大 学	4 時間34分07秒51
6	至 学 館 大 学	4 時間37分12秒13
7	中 部 大 学	4 時間37分48秒82
8	東 海 学 園 大 学	4 時間38分13秒53
9	静 岡 大 学	4 時間41分44秒00
10	名古屋工業大学	4 時間42分34秒63
11	名 城 大 学	4 時間44分58秒24
12	三 重 大 学	4 時間51分10秒24
	南 山 大 学	選考外
	愛 知 工 業 大 学	DNS(欠場)
	愛 知 教 育 大 学	DNS(欠場)

「飛び抜けた選手がいらない分、全員自己ベストを更新しようとみんなで話し合った」と主将の

「全日本の目標は「12位」。弱くなったとは言わせない

昨年、全日本大学駅伝で17人抜きという偉業を成し遂げた川瀬翔矢選手(現日・令和2年度卒)をはじめとする主力層が抜けた上に、コロナ禍という困難な状況が重なる中で迎えた今回の選考会。実際、コロナに関わる事

―無事にスタートラインに立てたことに感謝

情で棄権した大学もあり、日比勝俊監督は「合宿所や大学関係者、学生の皆さんが結集して感染予防に取り組んでくださった結果として無事にスタートラインに立てたことに、私、選手一同、心より感謝」と気持ちを述べた。

1組目には原田翼選手(コミ

選考会はタイムレース方式。全3組(一組につき2名または3名、計8名が10000mを走り、合計タイムの上位2チームが11月7日(日)に開催される第53回全日本大学駅伝対校選手権大会に出場できる。

4・佐藤光選手(現日2)が出場

し、2、3位と健闘。2組目の3名は1位下村悠斗選手(国文3)、2位芝辻晴裕選手(現日1)、3位竹内啓一郎選手(国史3)と上位を独占し、合計タイムでも岐阜協立大学を抜き1位に浮上した。最終3組目には鈴木翔也選

手(教育4)、柴田龍一選手(現日3)、佐藤楓馬選手(現日2)が出場。佐藤楓馬選手は全出場選手の中で2位となる力走だった。総合成績が1位の本学(4時間10分33秒71)と、2位の岐阜協立大学(4時間13分13秒12)が全日本大学駅伝の出場権を獲得した。

先輩たちが抜けて弱くなったとは言わせないと意地の表れか、フリーの日でもロングジョグをしたり朝の練習メニューにプラスアルファして長い距離を走ったりと自主的にコツコツ練習する選手が増え、チーム全体がいい雰囲気になってきている」と自信をのぞかせる。

敢えて高い目標を掲げ、出雲駅伝は「地方1位」、全日本大学駅伝は「12位」、東海学生駅伝は「5連覇」をめざす。「自分たちが頑張れば、手が届かない順位ではない」と、みんなで決めた。「昨年を超える目標を据えたことで部員の意識が変わった。1月に代替わりしてから現在まで着実に力を付け、昨年に負けないくらい層の厚い部に仕上がっている。3駅伝でそれぞれの目標をきつと達成してみせませ」と気合は十二分。伝統の標をつなぎ、「皇學館」の名にふさわしい走りを見せてくれるに違いない。

第53回 全日本大学駅伝東海地区選考会メンバー

原田 翼(コミ4)

佐藤 光(現日2)

下村悠斗(国文3)

竹内啓一郎(国史3)

芝辻晴裕(現日1)

鈴木翔也(教育4)

柴田龍一(現日3)

佐藤楓馬(現日2)

1 組

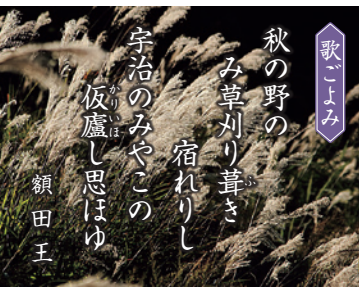
2 組

3 組

皇學館大学 園學報

第88号

令和3年9月



- 注目記事
- アカデミック 2面 「令和2年度優良教育実践」に4名
- アカデミック 3面 児童の図形理解にプログラミングを活用 杉野裕子教授 科学研究費助成事業
- 地域連携 4面 社会人サッカーチーム 「FC.ISE-SHIMA」と連携協定締結
- カルチャー&スポーツ 5面 松山心さん(現日1)が ろう野球日本代表に
- 高中トピックス 6面 全校クラスマッチを1年ぶりに開催 1年生が日帰りで校外研修
- アクティヴスチューデント 8面 大学柔道部が3大会で全国へ。 上位入賞をめざす

皇學館大学
140th ANNIVERSARY
SINCE RE-OPENING
令和4年に創立140周年・再興60周年を迎えます。

発行・編集 学校法人皇學館 企画部
TEL 0596-22-6496・8600

大 学
大学院 | 文学部 教育学部
専攻科 | 現代日本社会学部
〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704
TEL 0596-22-0201(代) FAX 0596-27-1704

高等学校・中学校
三重県伊勢市楠部町138
[高校] 〒516-8577 TEL 0596-22-0205(代)
[中学] 〒516-8588 TEL 0596-23-1398(代)

最近、新聞のコラムを書き写す人のための専用のノートが各新聞社から発売されているという▼利用法として子どもたちの読み書き能力の伸長を図るためには思い浮かぶが、高齢者の体験談も少なからず報告されている▼例えば、七十代女性の紹介記事では、人の名前がすつと出なくなったり忘れっぽくなった悩みを友人に相談したら新聞の書き写しを提案され、以来、書き写しているというのがあった▼アメリカの心理学者キヤッテルによって提唱された結晶性知能と流動性知能のうち、高齢者になると流動性知能が低下するとされる。流動性知能とは、抽象的な関係性の知覚や数的概念、記憶の想起、環境への適応などである。一方、結晶性知能とは、判断力、思考力、洞察力などで、言語運用能力もこれにあたる▼単純に考えれば、書き写しは言語運用能力に関わることから、そもそも低下しないのではないかとと思うが、読んだ言葉を記憶して書く時に思い出すことで流動性知能の短期記憶の訓練になっているらしい▼さて、倉田山春秋書き写しノートはいつ発売になるのだろうか。楽しみである。



児童の図形理解に プログラミングを活用

杉野裕子教授 科学研究費助成事業

教育学部・杉野裕子教授が研究代表者を務め令和2年度科学研究費助成事業に採択された「小学2年から4年での図形の属性・形・性質理解をはかるプログラミング活用研究」。同研究の実践・検証の一環として杉野教授とゼミ生4名が5月31日、伊勢市立豊浜西小学校の協力を得て、4年生を対象に算数の授業を行った。

杉野教授は「角」の単元において児童が「1つの頂点から出ている



熱心に取り組む児童たち

2つの辺がつくる形」との認識に留まり、「1つの直線が端の点を中心に回転した形」という量的な視点で捉えていないケースがあることを懸念。子どもの算数・数学学習のために作られたプログラミング言語LOGOをベースに「角度」「回転量」との概念形成や分度器の使い方・仕組みの理解に役立つプログラミング用教材を開発した。授業では「辺をかく」「30°回転」等、児童が各自のタブレットでプログラミングすると、画面上のカメが回転し軌跡を描きながら命令通りの角を作る。子どもたちは色々な角度でのプログラムづくりに挑戦し、連動するカメの動きを見ながら理解を深めた様子だった。また、児童は互いのプログラムを電子黒板で発表して共有していった。杉野教授は「プログラミングの操作を通して図形を言語化、可視化するため、図形のイメージや概念の形成に役立つ。引き続き実践・検証を重ね、活用機会を広げたい」と話す。

英語脳をつくる

「図書館多読チャレンジ」が好評

「すらすら英文を読めるようになった」「英語への抵抗感が薄れた」等、コミュニケーション学科の玉田貴裕助教と本学附属図書館がタッグを組み令和2年7月に開始した英文多読プログラム「図書館多読チャレンジ」に参加者から喜びの声が続々届いている。

「多読」とは英語で書かれた易しい本

をたくさん読む英語学修法の一つだ。

①辞書を引かない、②分からないところは飛ばす、③面白くなかったら次の本へという3つのルールを守ること。大量の文章を読み進めることができ、単語や文法構造を英語のまま理解する回路が育つ。参加した鎌田ゆいさん(教育・令和2年度卒)は通学時や空きコマ



約5500冊を誇る図書館2階ラーニング commonsの「多読コーナー」。ゴールド0～100語、イエロー101～300語等、読解に必要な語彙数が色分け表示してあるので取り組みやすい

など隙間時間を活用し週に10冊を読破。卒業前の約3カ月間で23万語を読み、10万語を超えたあたりから読むのが

速くなりストーリーを楽しめた。英語を英語で理解できるようになり、英語力(とくに読む力)が上がった」と多読の効果について実感を込めて語った。「現在は英語系科目を受講する1・2年生が主に取り組んでいるが、3・4年生になっても継続してもらえる仕組みを図書館と一緒に検討したい」と話す玉田助教。なお「図書館多読チャレンジ」では年に2回表彰を行っており、令和3年7月の表彰式では10万語以上達成した33名、20万語以上達成した2名に賞状と記念品が贈られた。

令和3年度科研費に6件採択

令和3年度の科学研究費助成事業に本学園から6研究が採択された。研究課題と代表者は下表の通り。

研究課題名	研究代表者
研究種目	研究期間
1 古代伊勢神宮に関する未公開史料を活用した基礎的研究 (課題番号: 21K00074)	研究開発推進センター准教授 佐野真人
基盤研究(C) 令和3年度～令和5年度	
2 思春期の子どもへの親に対する自己開示に関する研究 (課題番号: 21K03037)	教育学部教授 渡邊賢二
基盤研究(C) 令和3年度～令和6年度	
3 大臀筋の選択的トレーニングがスプリント能力に及ぼす影響 (課題番号: 21K11485)	教育学部助教 吉本隆哉
基盤研究(C) 令和3年度～令和5年度	
4 視線入力を活用した重度身体障害児者の遠隔eSports参加による自己肯定感の向上 (課題番号: 21K12776)	教育学部教授 大杉成喜
基盤研究(C) 令和3年度～令和5年度	
5 日本思想は「哲学」になりうるか—近世・近代の経典解釈史からの「日本哲学」の再構成 (課題番号: 21K12834)	文学部准教授 板東洋介
若手研究 令和3年度～令和6年度	
6 数学的活動の授業評価ルーブリックに関する実証的研究 (課題番号: 21H03928)	皇學館高等学校教諭 黒田大樹
奨励研究 令和3年度	

岡野友彦教授の論文がランキング1位に

皇學館大学学術リポジトリ

研究・教育活動の成果を学内外に公開し社会に貢献しよう、と、本学では学術論文等のデジタルコンテンツ化を積極的に進め「皇學館大学学術リポジトリ」の運用を平成29年4月に開始した(87号7面参照)。同リポジトリへのアクセス件数が月平均1768件と関心の高さがうかがえる中、岡野友彦教授の論文「日本の荘園

はなぜ教えにくいのか」が8月末時点で閲覧数2万9888、ダウンロード数2万172を記録し、ランキング1位となった。本学では今後も学術情報、デジタルコンテンツの充実を図り、本学が持つ知的資源を広く社会へ還元していく。



皇學館学園報に関するアンケートのお願い

よりよい紙面づくりをめざして、本紙「皇學館学園報」についてのアンケートを実施いたします。以下のサイトより忌憚のないご意見・ご感想をいただきたく、よろしくお願いいたします。

アンケート実施期間

令和3年
9月24日～10月31日



問合せ先 ● 学校法人皇學館企画部
TEL 0596-22-6496・8600

宇治おはらい町で平安末から鎌倉初頭の陶器が出土 考古学研究会学術発掘調査

調査に参加した手倉森結南さん(国史3)(左)と大和久直紀さん(神道3)



本学考古学研究会(岡田登

本学名誉教授、部員24名)は百五銀行内宮前支店の改築に伴い、鳥居前町として発展してきた宇治おはらい町の歴史を検証する試掘調査を行った。調査期間は令和2年3月20～23日、28・29日の5日間。

調査の結果、江戸時代後半から明治時代、最も古い遺物では平安末から鎌倉時代初頭頃の陶器などが出土し、今回の調査区の下層、あるいはその周辺部に鎌倉時代初頭またはそれ以前の遺構が埋没している可能性が高まった。

玉城町より受託研究

学外諸団体等から研究・調査等の委託を受け、その研究成果を報告する受託研究。令和2年度は玉城町より「玉城町明るい未来づくりに関する調査研究業務」を受託し、年度末にケーブルテレビ玉城町行政チャンネルで研究成果報告の様子が放映された。

令和2年度 受託研究

玉城町明るい未来づくりに関する調査研究業務

研究担当者 ● 池山 敦

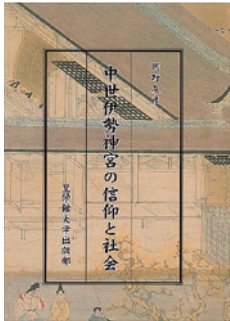
研究期間 ● 令和2年6月22日～令和3年3月19日

新刊のご案内

『中世伊勢神宮の信仰と社会』

中世の伊勢神宮。一見衰微に向かいつつ、多くの御厨・御園が置かれ、伊勢神道が成立し、伊勢御師が成長した時代でもある。「私幣禁断」を軸にその謎に迫る。

著者：岡野友彦
定価：1,575円
装丁：B6判・260頁



ご注文の際は大学ホームページから、もしくは下記へお電話またはFAXにてご連絡ください。

TEL・FAX 0596-22-6320 皇學館大学出版部

- 書名・冊数・住所・氏名・電話番号をお知らせください。
- お支払いは郵便振込にてお願いします。
- 別途送料(440円)をご負担いただきますので、ご了承ください。

Regional Collaboration
地域 連携

学識・伝統×スポーツで 地域活性化、人材育成を

FC.ISE-SHIMAと連携協定締結

学識と伝統をスポーツに取り入れ、一致協力して地域活性化と人材育成を図ろうと、本学は東海社会人サッカーリーグ1部に所属する「FC.ISE-SHIMA」と次の項目で包括連携協定を締結した。

- ①人材育成、教育の充実
 - ②まちづくり、にぎわいづくり
 - ③環境の保全・再生
 - ④地域の歴史や文化の振興
 - ⑤その他前条の目的を達成するために必要と認められる事項
- 今後は同チームによる本学サッカー部への指導やインターンシップ等のキャリア教育の推進、イベントや地元開催試合における学生らによる運営補助など、協定に基づき交流を深め、多岐にわたり活動していく。

7月16日の調印式で河野訓学長は「崇高な理想を掲げられ、サッカー以外にも地域貢献活動を推進されている。人材育成、まちづくり、環境保全、文化振興と幅広い連携のもと、地域の活性化ができればこの連携協定の大きな成果となる」と期待を寄せた。同チームの理事長兼監督の小倉隆史氏は「子どもたちにスポーツの楽しさや魅力を伝え、人間力を高めるチーム活動およびスクール活動の充実が地域やクラブにとって重要だと考えていた。スポーツと教育のコラボによる可能性を感じながら、両者の相乗効果で伊勢志摩地域からの発信を強めていきたい。皇學館大学と協力したからJFL、Jリーグ昇格ができたと言えるよう結果もしつかり残したい」と抱負を語った。

本協定の有効期間は協定締結日から1年間。双方から改廃の申し入れがない場合は1年ごとに更新される。

令和3年度チャレンジプロジェクトに2件採択

学生が主体となり地域連携や学内活性化に取り組む活動を大学がサポートするチャレンジプロジェクト。令和3年度は2件が採択された。



【地域との連携】

新しい免疫教材を使った高等学校への授業支援

代表 ● 杉山瑞姫 (教育3) サポート教員 ● 中松教授

教科書に掲載されているにも関わらずほぼ行われていない食作用(免疫)の観察・実験について、高校生がより簡単に取り組めるよう教材に改良を加えた。7月16日に伊勢高等学校で授業支援を行い、11月末以降に皇學館高等学校でも実施する予定だ。将来的には全国への普及をめざす。

【地域との連携】

地元の食材を、知ろう、作ろう、食べようプロジェクト

代表 ● 高島菜摘 (教育3) サポート教員 ● 駒田教授

三重の食材の魅力を将来の消費者となる子どもとその保護者に向け発信し、関心を高めてもらうのが狙い。コロナ禍によりこれまでと同様の料理教室の開催は難しいため、松阪農業公園ベルファームなど密にならない会場でのクッキングイベントのほか、地域食材を使った献立のネット配信等、多彩な活動を展開中。



皇學館大学家庭科教育ゼミによるAmebaブログ。地元の食材を使った料理レシピを掲載している

教育学部発 2 活動を採用 令和3年度 おかげキャンパスプロジェクト

令和3年度おかげキャンパスプロジェクトに教育学部の駒田聡子教授、大杉成喜教授がそれぞれ担当する2件が採択された。概要は以下の通り。

担当教員	駒 田 聡 子
計 画 名	ベルファームと協働して、 地産地消を広めようプロジェクト
実施期間	令和3年4月22日～令和4年1月31日
活動内容	農産物直売所を利用していない若い世代や小さな子どもを持つ親世代をメインターゲットに地場産品を使った弁当作りや献立の開発、「ロロン」「シルクスweet」「子どもピーマン」等を用いた調理体験、ニーズ調査、ロゴ・POP制作等を行う。
担当教員	大 杉 成 喜
計 画 名	「ちいさいおともだちのためのプログラミングきょうしつ・コンテスト」プロジェクト
実施期間	令和3年5月25日～令和4年1月31日
概 要	小学校低学年や未就学児、知的障害児等、認知発達段階の子どもを対象に学習意欲の向上、論理的思考力の養成につながるプログラミング教育を継続的に、プログラミングコンテストへの参加をめざす。

包括連携事業概要

項 目	考えられる取組み例
(1) 地域の活性化に関する事項	● 交流の促進／地域の課題解決の取組みへの参画 ● まちづくり、地域活性化、観光政策等へのアドバイス等の協力 ● SDGsの推進
(2) 地域人材の育成に関する事項	● 志摩市に誇りをもって住み続けたいと考える学生を増やす対話 ● 志摩市内企業と卒業見込み・卒業生とのマッチング
(3) 教育の充実に関する事項	● 大学生による無償教育支援ボランティア ● 大学生による無償学校図書館支援ボランティア ● スポーツ教室等の開催
(4) 福祉の推進に関する事項	● 企画ボランティアの取組み
(5) 地域の歴史や伝統文化の振興に関する事項	● 文化、文化財等に関連する教員、学生による調査研究 ● 歴史、文化に関する講座、セミナー等の開催
(6) その他前条の目的を達成するために必要と認められる事項	● 防災ボランティア (防災訓練、防災講話等への協力)

志摩市と包括連携協定



調印する河野学長(左)と志摩市の橋爪市長

平成26年度に文部科学省の地(知)の拠点整備事業に採択されたことを機に本学は志摩市を含む伊勢志摩定住自立圏8市町と連携し、学生が地域課題解決を体験的に学ぶ学修プログラムCLL活動を推進してきた。この間、志摩市をフィールドに多彩な活動を展開していき

「あばばい」伊勢志摩国立公園学生部会、「離島ツアーin間崎島」等を実施してきた実績を踏まえ、さらに連携を強化し地域活性や人材育成に寄与しようと包括連携協定を締結するに至った。

8月27日、志摩市役所で執り行われた調印式で河野訓学長は「諸方面での連携を可能にする包括連携協定を結ぶことに感謝。風光明媚な志摩市と手を携え、両者にプラスとなる活動を進めてまいりたい」と挨拶し、志摩市の橋爪政吉市長は「地域の活性化はもとより教育、福祉等様々な部分で連携をしたい。『生きる力』を育むフィールドとして志摩市を活用いただければ嬉しい」と期待を込めた。今後、市各課と協力しながら多彩な活動を展開していき

CLL活動 リポート

伊勢市と共同制作した「広報いせ」が 全国広報コンクールで2年連続入選!



鈴木健一伊勢市長にコンクール入選をご報告

CLL活動「広報いせ特集記事制作プロジェクト」がコロナ禍だからこそ創意工夫をと提案し、「広報いせ」令和2年8月1日・9月1日号で組んだ特集「子どももおとなもうちでたのしむなっじかん」「伊勢えがおプロジェクト」が「広報いせ」(84号8面参照)などが全国広報コンクールの広報企画部門で87自治体の中から入選を果たした。昨年度も同部門で入選しており、2年連続入選は東海三県初の快挙だ。

また、今年の8月1日号では「MOTTAI(もったいない)が地球を救う!ごみ減量大作戦」と題してごみを減らすライフスタイルを提案したり、9月1日号では本行われる国政・地方選挙を見据えCLL活動「若者の投票率UP!プロジェクト」とコラボ。学生が投票までの一連の流れを体験する模擬投票の様子を取材・撮影し掲載した。

学生視点を生かし、号を重ねることにより充実した紙面を制作している同プロジェクト。CLL活動同士でタッグを組むなど新たな展開も見せている。今後も注目だ。



平成30年に活動を開始した同プロジェクト。現在は14名のメンバーが活躍中

Culture & Sports カルチャー&スポーツ

高校野球部が東北遠征を実施



8月6日から9日にかけての4日間、皇學館高校野球部が東北遠征を実施した。1日目は福島県白河市の球場で練習し、その後岩手県へ移動。2、3日目は大谷翔平選手、菊池雄星選手の母校、花巻東高校と試合を行った。技術的なことはもちろんのこと、野球に取り組む姿勢など多くを学び、感じる事ができた。4日目は一昨年まで13年連続で夏の甲子園出場の福島・聖光学院との試合を予定していたが、スケジュールの関係で中止となった。この4日間の遠征を通して心身ともにチーム強化を図ることができました。来春に行われる選抜高校野球大会に出場できるよう一層頑張っていきますので、応援のほどよろしく願いいたします。 野球部顧問 中田 遼

のべ1600名が参加。WEBオープンキャンパスも実施 令和3年度 オープンキャンパス

恒例のオープンキャンパスが「Hello! New Me」をテーマに6月から8月にかけて開催された。新型コロナウイルス感染症対策として昨年度に引き続き、事前予約制(定員制限あり)を採用。参加を受験生及び付添者に限定した上でAO対策講義・模擬講義・体験型プログラム・個別相談会(入試・学科・学生)・施設散策を実施し、のべ1600名(生徒1115名、付添者485名)にご参加いただいた。



体験型プログラムでは古文書を復元し、実際に読んでみる「古文書で歴史体験」(国史学科)や必修となった小学生へのプログラミングツールを実際に触れて体験する「小学校段階のプログラミング教育」(教育学科)といった大学ならではの専門性の高い講義が行われ、好評をいただいた。

その他、本学受験生サイトにてWEBオープンキャンパスを実施し、動画形式で入試説明などを行っている。本サイト内でオープンキャンパスの模様も動画形式で公開しているので、こちらもぜひご覧いただきたい。

第22回 高校生英語スピーチコンテスト 開催のご案内

スピーチ動画募集中

文学部コミュニケーション学科では昨年に続き、動画による「第22回高校生英語スピーチコンテスト」を開催いたします。日頃の勉強の成果を試すこの機会に是非ともみなさんのご応募をお待ちしております。開催案内・応募書類についてはこちら(→)のサイトをご覧ください。



応募期間 9月17日(金)~10月15日(金)必着

応募書類送付先・問合せ

皇學館大学文学部コミュニケーション学科研究室
〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704
TEL・FAX 0596-22-6472
E-mail commu@kogakkan-u.ac.jp

開室時間：月～金曜日 9:00～17:00

※お問合せはE-mailをご利用ください。



味方を信じて投げる松山さん

国際大会では補聴器等の装着は禁止されているため、試合ではアイコネクタクトや手話、ジェスチャーによってコミュニケーションを図る。一方、聴力障害者といっても口話や筆談などが専らで手話を知らない人もおり、「意思伝達のすれ違いが多く、苦勞した」と松山さん。だからこそコミュニケーション力を養う機会になったと言い、「一目で素早く判断したり、周りを観察する力が付きました」と話す。

目標は優勝。「私のピッチングで世界を圧倒したい」と意気込む。硬式野球がデフリンピックの正式種目になれば、デフリンピアンも夢ではない。さらなる活躍に期待大だ。

***デフリンピック**
4年に1度、世界規模で行われる聴覚障害者のためのスポーツ競技大会。日本ろう野球協会ではデフリンピックの競技種目に野球を導入すべく活動している。

松山心さん(現日1)が ろう野球日本代表に



「ろう野球は一般よりジェスチャーが多いところが魅力」と松山さん

本学硬式野球部員の松山心さん(現日1)がろう野球の日本代表に選出され、7月2日から4日にかけて札幌で行われた強化合宿に参加。令和4年3月に台湾で開催される予定の世界ろう野球選手権大会に向け、最速145キロの投球に磨きをかけた。生まれつき左耳が聞こえず、右耳は補聴器を付けてわずかに聞き取れる程度。野球歴は11年と長く、甲子園出場をめざして聾学校から松阪商業高校へ進学した。日本代表に選ばれているのは2度目。前回は唯一の高校生メンバーとして話題を呼んだが、韓国で行われるはずだった世界大会は新型コロナウイルスの影響で中止に。今回、再び代表入りを果たしたことに松山さんは「日の丸を背負って戦えることが誇り」と喜びを語った。

止されているため、試合ではアイコネクタクトや手話、ジェスチャーによってコミュニケーションを図る。一方、聴力障害者といっても口話や筆談などが専らで手話を知らない人もおり、「意思伝達のすれ違いが多く、苦勞した」と松山さん。だからこそコミュニケーション力を養う機会になったと言い、「一目で素早く判断したり、周りを観察する力が付きました」と話す。

三重県リーグ5連覇、東海リーグ準優勝

大学硬式野球部



日大戦9回2失点完投勝利した鈴木投手

大学硬式野球部が春季三重県リーグ戦にて5期連続で優勝を果たし、5月22日に岐阜市の長良川球場で開催された東海地区春季大会に出場した。同大会は三重、岐阜、静岡の代表3校による総当たり戦。2勝したチームが全日本大学野球選手権への出場権を獲得する。本学は初戦で静岡代表の日本大学国際関係学部と対戦。プロからも注目される鈴木貴太郎選手(現日4)がこの日最速145キロをマークする

が、9回に1点を失い5対6で惜敗。涙を飲んだ。

新型コロナウイルスの影響により今春は練習自粛、対外試合禁止など思うように部活動に取り組めなかったが、8月10日から12日にかけて万全のコロナ対策をした上で社会人チームと試合をするなど徐々に練習環境を取り戻しつつある。「神宮から神宮へ」を合言葉に平成27年以来2度目の全国大会出場に向けて、鍛錬の日々は続く。

皇學館柔道を世界へ! 歌代さんがブータンで 柔道指導者に

東京2020オリンピック柔道男子60キロ級、高藤直寿選手が日本勢初の金メダルを獲得した同日、同じ場所に本学柔道部OB歌代勇祐さん(教育・平成29年度卒)の姿があった。自身が指導し、柔道種目でブータン王国史上初のオリンピック選手(特別枠)となったンガワン・ナムゲルさんを見守るためだ。

在学中にオーストラリア大会や柔道連盟の海外派遣ボランティアに参加した経験から外国を身近に感じていたという歌代さん。人としての厚みを持った指導者をめざし、JICAのスポーツ隊員に応募。平成30年10月からブータン王国でコーチを務めた。新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年4月に帰国しそのまま任期を終えたが、情熱冷めやらず



コーチとして東京五輪に挑んだ歌代さん



奥から歌代さん、ンガワン・ナムゲルさん、佐藤部長

ブータン柔道協会と直接契約し、今年4月から再び教えることに。原動力は柔道部で培った「誇り」だ。「リーダーシップやマネジメントなど柔道に限らず得るものが多く、ハイレベルな環境の中でやり切ったことが誇りにつながった。ブータンの人には柔道を通して心技体を磨き前向きに取り組めば、自ずと柔道以外にも生きてくることを学びとつてほしい」と熱く語る。師と仰ぐ佐藤武尊部長の教え、皇學館柔道の精神を広く伝え、後進を育てたい――歌代さんの夢は始まったばかりだ。

令和4年度生

皇學館高等学校・中学校募集要項

出願が始まります

詳しくはホームページの募集要項をご覧ください。

皇學館高等学校

募集定員	320名(内部進学者含む) ※予定
募集コース	進学コース・特別進学コース
願書受付	令和3年 12月6日(月)～令和4年 1月12日(水)
出願方法	インターネット(WEB)出願
試験日	令和4年1月27日(木)
教科	国語・数学・英語・理科・社会

オープンスクールのご案内

下記日程以外の見学も可能です。
詳しくはお問合せください。

第2回オープンスクール

「入試問題を知ろう!」

10月10日(日) 10:00～13:00

学校説明、入試説明、吹奏楽部によるミニコンサート、
入試過去問題解説(英語・数学)、入学相談会 など

第3回オープンスクール

「クラブ活動を知ろう!」

11月14日(日) 13:00～16:00

学校説明、入試説明、吹奏楽部によるミニコンサート、
生徒によるクラブ紹介、入学相談会 など

問合せ先

皇學館高等学校 TEL 0596-22-0205

全校クラスマッチを1年ぶりに開催

新

新型コロナウイルスの影響で昨年は学年別に
分かれて実施されたクラスマッチ。今年は
手指・ボールの消毒や人数制限など万全の感染対
策をとった上で7月16日に開催され、全校生徒が
参加。ソフトバレーボールで熱戦が繰り広げられ
た。



コート	優勝チーム
A	3-7
B	2-8
C	1-6
D	3-1
E	3-3
F	3-5

どのコートでも白熱した戦いが見られた

行事は多くの方々の尽力で成り立っている

校友会総務副委員長 石谷実佐(2年8組)

当日はどの教室もクラスカラーに包まれ、一体感を感じ
ました。色々な制限はありましたが、試合ではプレーが失敗
しても成功しても拍手の音が響きました。そしてチームが
一つとなってボールを繋ぎ、一人はみんなのために、みん
なは一人のために戦う姿が印象的でした。戦略を練って勝
ち抜いたり、男女混合チームでクラスの絆を深めたりと、前
校友会役員の先輩方が考えてくださった男女が一緒に楽
しめるルールのおかげでクラスマッチは一層盛り上がりま
した。また、校友会役員として初めてクラスマッチの運営に
携わったことで、どんな行事でも多くの方々の尽力によっ
て成り立っていることに気づかされました。
クラスマッチを終え、行事を通して得られるクラスの団結
力の素晴らしさを実感しました。これは普段の学校生活だ
けでは得られないものです。ひとつでも多くの思い出がで
きるように校友会役員みんなで考えていきたいと思います。

クラブ公式戦(全国大会)結果

陸上競技部・川端優太さんが5位入賞!
全国大会で皇學館生が活躍

全国高等学校総合文化祭

写真部	森口 心暖(3-1)	奨励賞(ベスト16)
	奥田 春斗(2-6)	奨励賞(ベスト16)

全国高等学校総合体育大会

バドミントン部	女子団体	ベスト16
	女子個人ダブルス 岡 珠希、東 美衣奈	ベスト16
	4×100mリレー 長谷川 魁里、家田 惇基、山田 真大、大川 祥太	準決勝進出(40秒70)
	110mハードル 山田 真大	三重県高校新 準決勝進出(14秒27)
陸上競技部	走高跳 川端 優太	5位入賞(2m06)
	棒高跳 高山 華梨	20位(3m40)
	棒高跳 白井 滯奈	記録なし

1年生が日帰りで校外研修

6

月18日、1年生が志摩市登茂山
公園での校外研修に参加し、真
珠を使ったアクセサリー作りやシーカ
ヤック体験を楽しんだ。昨年はコロナ
禍のため中止を余儀なくされたが、今
年度は日帰りで決行。1年生たちは研
修で学んだことを新聞にまとめ、22日
の全校朝礼で発表した。



シーカヤック体験ではコンビネーションの大切さを実感

力を合わせる大切さを学ぶ 1年A組 木村 瑠那

天気予報をずっと気にしていた「校外研修」。待ちに待った当日は少し
曇っていたものの暑すぎずちょうどよい気候でした。五十鈴川駅に集合
したみんなの顔はとても晴れやかで、皇學館の大型バスに乗って志摩市
登茂山公園にある「志摩自然学校」に向かいました。
現地ではまず「真珠講座」を受けました。140年前、鳥羽で始まった真珠
養殖。リアス式海岸を持ち波静かな英虞湾は周囲の山や森から栄養分が
流れ込むため養殖に適しており、三重県は真珠養殖生産量第3位だそう
です。また、真珠はきれいな海とアコヤ貝、人の技術がそろって初めて生
み出されることから人と自然の共生のシンボルとしても扱われるそう
です。しっかり勉強した後、本物の真珠を使ってプレスレットを作りました。
一つとして同じものがない真珠を使って、世界にただ一つのプレスレット
ができて嬉しかったです。
浜辺でお弁当を食べてから、シーカヤック体験をしました。最初は2人
で息を合わせるのが大変でしたが、徐々に息が合ってきて、進むのが速く
なりました。みんな笑顔で、友達と力を合わせることの大切さを学ぶこと
ができました。
日帰りでも校外研修に行けて本当に嬉しかったです。きっと、たくさん
の方のおかげで実行できたのだと思います。ありがとうございました。

コロナ対策で制限ある中、満足度高く

第1回オープンスクール

6

月27日に『第1回オープンスクール2021～皇學館を
知ろう～』が開催された。セミナーホールで実施さ
れた保護者・児童を対象とした学校紹介では、生徒代表に
よる学校行事や部活動についての説明が行われた。皇學館
中学校の日常を写真などで紹介し、小学生にも伝わる丁寧
でとてもわかりやすい内容だった。体験授業では「英語」と「算数」が実施され、英語ではiPadを使
ったオンライン英会話を体験し、児童は画面越しの外国人講師とマンツーマンで会話を楽しんだ。数
学では《身近に潜む暗号を解こう》と題して、点字の規則性を発見し、様々な場所の点字を読むこと
ができるようになる授業を体験した。さらに個人相談や動画ブースなども開催し、より詳しく中学校
の魅力を知ってもらうことができた。新型コロナウイルス感染防止の観点から制限があった中での開
催だったが、参加した保護者・児童からは満足の声が多く聞かれた大盛況の半日となった。

皇學館中学校

募集人数	A日程(一般・専願)・B日程合わせて 35名
------	------------------------

A日程

出願期間	令和3年12月6日(月)～ 令和4年1月7日(金) 15:00まで
出願方法	インターネット出願
試験日時	令和4年1月9日(日) 8:35集合
入試科目	一般 国語・算数・社会・理科・英語 ※国・算必須。社・理・英から2科選択し、得 点の高い1科採用 専願 国語・算数 ※英語外部試験の有資格者に加算

B日程

出願期間	令和4年 1月17日(月)～28日(金) 15:00まで
出願方法	インターネット出願
試験日時	令和4年1月30日(日) 8:35集合
入試科目	国語・算数

オープンスクールのご案内

第3回オープンスクール2021
～皇學館で学ぼう～

11月7日(日) 9:30～

学校説明・入試説明・入試対策授業 など

※HPにて申込が必要になります。約1カ月前から受付開始予
定です。

問合せ先

皇學館中学校 TEL 0596-23-1398(代)

高
校

中
学
校

令和2年度 収支決算報告

学校法人皇學館の令和2年度決算は、令和3年5月28日(金)開催の理事会で承認されましたので、ここにその内容を報告致します。

なお、公式ホームページ (<http://www.kogakkan-u.ac.jp>) の大学概要～IR情報～事業報告～令和2年度にて、教育研究機関・学校法人の組織機構・入学生数・在籍者数・卒業生数・進路状況及び法人の事業報告書、財務の概要等を公表しておりますので、併せてご覧ください。

令和2年度収支決算書は、以下のとおりです。

1 資金収支計算書

この計算書は、企業会計におけるキャッシュフロー計算書に近いもので、当該会計年度の教育研究活動及びその活動に付随する全ての資金の動きと内容を明らかにすることを目的としています。

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症への対応による教育活動の中止等がありました。教室等の除菌清掃や、オンライン授業併用の環境整備等を実施し教育活動の充実を図りました。

資金収支計算書(法人全体)

令和2年4月1日～令和3年3月31日 単位：千円

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	3,893,230	3,928,587	△35,357
手数料収入	78,676	76,770	1,905
寄付金収入	72,029	74,014	△1,985
補助金収入	758,326	782,757	△24,431
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	22,560	5,313	17,246
受取利息・配当金収入	6,603	9,677	△3,074
雑収入	193,506	174,274	19,231
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	638,411	683,345	△44,934
その他の収入	193,086	218,215	△25,128
資金収入調整勘定	△808,806	△832,120	23,313
当年度資金収入合計 ①	5,047,621	5,120,835	△73,214
前年度繰越支払資金	2,413,464	2,413,464	
収入の部合計	7,461,085	7,534,299	△73,214

支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	2,724,961	2,674,445	50,515
教育研究経費支出	1,017,846	1,036,018	△18,172
管理経費支出	396,768	377,378	19,389
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	64,782	60,466	4,315
設備関係支出	219,335	176,896	42,438
資産運用支出	818,317	817,299	1,017
その他の支出	115,307	125,368	△10,061
〔予備費〕	0	0	0
資金支出調整勘定	△72,545	△80,648	8,103
当年度資金支出合計 ②	5,304,771	5,187,225	117,546
翌年度繰越支払資金	2,156,314	2,347,074	△190,760
支出の部合計	7,461,085	7,534,299	△73,214
当年度資金収支差額 ①－②	△257,150	△66,390	△190,760

【注1】記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

【注2】貸借対照表の注記は省略しています。

2 事業活動収支計算書

この計算書は、企業会計における損益計算書にあたるもので、学園の経営状況を表し、令和2年度における事業活動収支の均衡状況とその内容を明らかにするものです。事業活動収支を「教育活動収支」「教育活動外収支」「特別収支」に区分し、企業会計により近い形式となっています。

事業活動収支計算書(法人全体)

令和2年4月1日～令和3年3月31日 単位：千円

教育活動収支	科目	令和2年4月1日～令和3年3月31日		
		予算	決算	差異
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	3,893,230	3,928,587	△35,357
	手数料	78,676	76,770	1,905
	寄付金	42,029	44,588	△2,559
	経常費等補助金	750,587	771,396	△20,809
	付随事業収入	22,560	5,313	17,246
	雑収入	199,304	179,123	20,180
	教育活動収入計	4,986,386	5,005,779	△19,393
	科目	予算	決算	差異
	人件費(退職給与引当金繰入額)	2,742,634(59,949)	2,692,923(60,052)	49,710(△103)
	教育研究経費(減価償却額)	1,542,705(524,859)	1,583,807(547,215)	△41,102(△22,356)
事業活動支出の部	管理経費(減価償却額)	423,330(32,107)	404,985(33,379)	18,344(△1,272)
	徴収不能額等	0	0	0
	教育活動支出計	4,708,669	4,681,716	26,952
	教育活動収支差額	277,717	324,063	△46,346
教育活動外収支	科目	予算	決算	差異
	受取利息・配当金	6,603	9,677	△3,074
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	6,603	9,677	△3,074
	科目	予算	決算	差異
	借入金等利息	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0
	教育活動外収支差額	6,603	9,677	△3,074
	経常収支差額	284,320	333,740	△49,420
特別収支	科目	予算	決算	差異
	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	49,539	47,398	2,140
	特別収入計	49,539	47,398	2,140
	科目	予算	決算	差異
	資産処分差額	16,263	16,263	0
	その他の特別支出	5,545	6,011	△466
	特別支出計	21,808	22,275	△466
	特別収支差額	27,731	25,123	2,607
	〔予備費〕	(0)	(0)	0
基本金組入前当年度収支差額	基本金組入額合計	△172,290	△103,838	△68,451
	当年度収支差額	119,761	255,025	△135,264
	前年度繰越収支差額	△3,567,201	△3,567,201	0
	基本金取崩額	0	0	0
	翌年度繰越収支差額	△3,447,440	△3,312,176	△135,264
【参考】	事業活動収入計	5,042,528	5,062,854	△20,326
	事業活動支出計(予備費含む)	4,750,477	4,703,991	46,485
	基本金組入前当年度収支差額	292,051	358,863	△66,812
	基本金組入額合計	△172,290	△103,838	△68,451
	当年度収支差額	119,761	255,025	△135,264
	前年度繰越収支差額	△3,567,201	△3,567,201	0
	基本金取崩額	0	0	0
	翌年度繰越収支差額	△3,447,440	△3,312,176	△135,264
	純資産が3億5千9百万円の増となりました。			
	純資産が3億5千9百万円の増となりました。			

教学振興会(神社界・卒業生・企業など)、皇學館サービス他からいただきました「教育活動に対する寄付金」です。

教育活動に関する経常費等補助金です。

教育研究経費及び管理経費の減価償却額合計は5億8千59万円となりました。

教育活動収支差額は、3億2千4百万円の黒字となりました。

教育活動収支及び教育活動外収支を合わせた経常収支差額は3億3千3百万円となりました。

施設設備に関する寄付金と補助金、及び専の会から頂戴したデザイン時計や、中学校高等学校後援会から頂戴したウォータークーラー等の現物寄付等を計上しています。

建物、構築物、機器備品、図書の資産処分額です。

過年度分の私学事業団共済掛金の修正額を計上しました。

3 貸借対照表

この計算書は、決算日における資産及び負債、純資産の内容及び在り高を明示し、学校法人の財政状態を明らかにすることを目的としています。固定資産については、「有形固定資産」「特定資産」「その他の固定資産」の3つの中科目を設けて表記しています。

貸借対照表

令和3年3月31日 単位：千円

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	17,300,942	16,849,500	451,442
有形固定資産	11,604,648	11,958,107	△353,458
土地	551,349	551,349	0
建物	7,696,003	7,986,332	△290,329
構築物	534,258	573,840	△39,581
教育研究用機器備品	703,120	724,930	△21,810
管理用機器備品	55,847	75,741	△19,893
図書	2,028,410	2,005,618	22,791
車両	35,658	40,293	△4,634
特定資産	5,563,018	4,857,449	705,568
第3号基本金引当特定資産	162,040	156,040	6,000
退職給与引当特定資産	1,233,365	1,233,365	0
施設維持引当特定資産	2,428,674	1,828,674	600,000
学園財政調整引当特定資産	1,200,000	1,100,000	100,000
学生寮施設維持引当特定資産	7,480	7,452	28
教学振興基金引当特定資産	150,000	150,000	0
篠田学術振興基金引当特定資産	59,966	56,093	3,872
津田学術振興基金引当特定資産	308,837	312,931	△4,093
奨学金引当特定資産	12,653	12,892	△239
その他の固定資産	133,275	33,943	99,332
電話加入権	3,959	3,959	0
有価証券	109,596	9,596	100,000
差入保証金	5,016	5,016	0
預託金	10,000	10,000	0
長期未収入金	1,200	1,800	△600
長期貸付金	3,504	3,572	△68
流動資産	2,840,531	3,017,525	△176,993
現金預金	2,347,074	2,413,464	△66,389
補助活動支払資金	235,401	253,534	△18,132
研修旅行費等預り資産	160,474	174,426	△13,952
未収入金	94,881	172,543	△77,662
販売用品	1,706	1,944	△238
短期貸付金	994	943	51
立替金	0	669	△669
資産の部合計	20,141,474	19,867,025	274,448

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	1,178,843	1,210,328	△31,485
退職給与引当金	1,080,164	1,066,536	13,628
長期未払金	98,678	143,792	△45,113
流動負債	1,056,293	1,109,222	△52,928
未払金	125,762	113,642	12,120
前受金	683,345	737,838	△54,493
預り金	247,185	257,741	△10,556
負債の部合計	2,235,136	2,319,551	△84,414

純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	21,218,513	21,114,675	103,838
第1号基本金	20,726,473	20,628,635	97,838
第3号基本金	162,040	156,040	6,000
第4号基本金	330,000	330,000	0
繰越収支差額	△3,312,176	△3,567,201	255,025
翌年度繰越収支差額	△3,312,176	△3,567,201	255,025
純資産の部合計	17,906,337	17,547,473	358,863
負債及び純資産の部合計	20,141,474	19,867,025	274,448

支援制度のご案内

高等教育修学支援 新制度の対象機関に 継続認定

学問追究と実践的教育のバランスがとれている等の要件を満たしているとして、令和2年4月から文部科学省が実施している高等教育修学支援制度の対象機関に、本学が今年度も継続して認定されました。新型コロナウイルス感染症の影響で世帯収入やアルバイト収入が減った方は支援対象になる可能性があります。詳細は下記をご覧ください。

●文部科学省
特設サイト



●給付奨学金
シミュレーション
(生徒・学生向け)



●お問合せ先 学生支援部学生担当
TEL 0596-22-6317



皇學館大学

令和4年に、創立140周年・再興60周年を迎えます。

Kogakkan University's 140th Founding & 60th Re-Opening Anniversary



| Official website | オフィシャル特設サイトを公開中です。ぜひご覧ください。 >>



大学強化指定クラブ協賛金

法人	1口 10,000円
個人	1口 3,000円

大学では、駅伝競走部、柔道部を強化指定クラブとし、全国で活躍できる選手の育成に努めています。競技力の向上のため、皆様の協賛金への協力をお願いします。

駅伝競走部は出雲駅伝・全日本大学駅伝(5年連続5回目)への出場が決定！

柔道部が3大会で全国へ！

詳しくは1面および8面をご参照ください。

教学振興会

大学	高校	中学
法人	1口 20,000円	
個人	1口 5,000円	

未来の日本を担う人材を育成するため、大学・高校・中学では教育研究活動、学生・生徒への修学支援活動、国際交流活動、地域社会貢献活動など多彩な教学振興活動を行っております。皆様の熱意あるご協力をご支援をお願いします。

皇學館クラブ応援メッセージ募金

大学	高校
法人	1口 2,000円
個人	1口 1,000円

学生・生徒のクラブにご支援をいただく寄付金です。寄付金は、指定のクラブに直接届く資金となり、活動の強化・充実に役立てられます。クラブへの応援メッセージも受け付けておりますので、ぜひお寄せください。

アクティブ スチューデント

Active Student

高い志とチャレンジ精神でもって学内のみならず、さまざまなフィールドで活躍している皇學館生たち。本コーナーでは彼らの熱い思いとともに、その活動ぶりをご紹介します。

柔道部

3大会で全国へ。上位入賞をめざす

本学柔道部が3大会で全国出場を決める快挙を成し遂げた。

5月22日、名古屋市で開催された「東海学生柔道夏季優勝大会」で平成30年以来となる2度目のアベック優勝を果たすと、勢いに乗り、8月29日に愛知県武道館で行われた「東海学生柔道体重別選手権大会」で大健闘。男子10名、女子2名の計12名が個人での全国大会への切符を手に入れた。この結果を受け、男子が「全日本学生柔道体重別団体優勝大会」への出場権を獲得した。

苦しい道のりだった。万が一にも感染



東海大会では1試合ごとに消毒作業を実施

者を出さないよう、部全体で不要不急の外出を避け、就職活動等でやむなく県外に出た部員をメンバーから外すなど念には念を入れた。佐藤武尊部長いわく「これまでにない戦いを強いられている」中で掴み取った全国大会への切符。上田虎徹主将は「日本柔道界をひっくり返すためにやってきた。一つでも多く勝ち上がれるように、チーム一丸となって頑張ります」と語り、上林山未来選手は「全国大会では上位をめざして頑張るのみ」と意気込みを見せる。

全国大会は新型コロナウイルス感染症の広がりを受け、11月以降に開かれる予定。来る本番の前に、ひたすら稽古に励む。



東海学生柔道夏季優勝大会後、本学柔道場にて撮影

東海学生柔道夏季優勝大会
(男子7人制)

優勝	皇學館大学
準優勝	中京大学
3位	愛知大学
3位	愛知学院大学

東海学生柔道夏季優勝大会
(女子3人制)

優勝	皇學館大学
準優勝	同朋大学
3位	至学館大学
3位	静岡産業大学

東海学生柔道体重別選手権大会

		優勝	2位	3位
男子	60kg			今西光 [*] (現日4)
	66kg		澤田大輝 [*] (現日2)	
	73kg	下沢直生 [*] (現日3)		山村隆斗 [*] (教育2)
	81kg	南夏貴 [*] (現日4)	本田凌万 [*] (現日3)	
	90kg		衛藤力也 [*] (現日3)	南大介 [*] (現日2)
女子	100kg	上田虎徹 [*] (教育4)		瀧川力 [*] (現日2)
	78kg超	上林山未来 [*] (教育4)	高橋麻莉弥 [*] (教育3)	寺本みやび(現日3)

^{*}全日本学生柔道体重別選手権大会に出場



中止の三重とこわか国体

出場予定選手の紹介

新型コロナウイルス感染者の急増を受けやむなく中止となった「三重とこわか国体」。本学園から出場予定だった選手7名を紹介する。

ライフル射撃

●10メートルエアライフル立射60発

池邊龍平さん(国文3)

【実績】日本ランキング14位。中部学生選手権3連覇

「気持ち切り替え、パリ五輪をめざす」

両足で直立した状態で10メートル先の標的に向かってエアライフルを60発撃ち、合計点を競う。標的には中心に向かって5ミリ刻みで円が描かれており、最も外側の円は直径45.5ミリ。ど真ん中の直径0.5ミリの円に命中すれば10点だ。なお、ファイナルの得点は小数点第1位まで採点され(最高は10.9点)、より精密な射撃技術が要求される。

県内で唯一ライフル射撃部がある久居高校出身。「自分の実力が点数ではっきりと出るので、努力の成果が分かる」のがライフルの魅力と話す。練習



の鬼で今や「10点は当たり前」の域に。常に10点を撃ち続ける集中力とメンタルを鍛えるため、普段からプレッシャーをかける特訓を行う。目標は日本のナショナルチームに入ること。「パリ五輪に出場したい」と3年後を見据える。

バドミントン

●少年女子の部

岡珠希さん(高校3年)〈写真左〉

岡東美衣奈さん(高校3年)〈写真中〉

吉居要さん(高校2年)〈写真右〉

【実績】全国高校総体2021で女子団体ベスト16、女子ダブルス(岡・東)ベスト16



「開催される大会では最高のパフォーマンスを」

全国高校総体2021バドミントン女子団体・ダブルス(岡・東ペア)とともに16強入りを果たした女子バドミントン部。国体はベスト8をチーム目標に臨む予定だった。今回中止となったことに吉居要さんは「地元開催の意地を見せる全力のプレーでチームに貢献したかった」と悔しそうに話しつつ、「コロナの影響でいろいろな大会が中止となっているからこそ開催される大会では最高のパフォーマンスを発揮し、県大会では優勝、全国大会では一つでも多く勝ち上位に食い込みたい」と闘志を燃やした。そのための取組みとしてメンタル面の強化を挙げ、「めざすのはミスをしてもし落ち着いてプレーできる選手。これからも自分のバドミントン人生に関わってくれたすべての人に恩返しができるよう頑張ります」と話した。

陸上競技

●少年男子A100m

●成年少年男子共通4×100mリレー

中西一冨さん(高校3年)

【実績】三重県高校総体100m・200m優勝



●少年男子共通110mH

山田真大さん(高校3年)

【実績】全国高校総体2021で準決勝進出、110mH三重県高校記録樹立



●少年男子共通走高跳

川端優太さん(高校3年)

【実績】全国高校総体2021で走高跳5位入賞



「次の舞台で頑張る」

表彰台や上位入賞をめざして三重とこわか国体に挑む予定だった陸上競技部の3人。代表してコメントを寄せてくれた山田真大さんは7月28日から8月1日にかけて福井県で行われた全国高校総体2021で110mHの県高校記録を更新したばかり。今回の国体中止には悔しさをにじませながらも、「次の舞台でもっといい結果が出せるように頑張っていく」と前向きに話した。進学後も競技は続ける予定で「スプリント力を上げてより速く走り、ハードルを素早く越えられるように仕上げていきたい。今年については試合があればハイハードル、ジュニアハードルともに県高校記録を塗り替えた」と目標を語った。